

週報

令和 5 年 9 月 1 日
2023~2024年度 No. 8

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆国歌斉唱「君が代」

☆ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆食事懇談

☆ゲスト紹介

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部外卓話

五島市 総務企画部 未来創造課

ゼロカーボンシティ推進班

係長 三井 寛之さん

テーマ「五島市ゼロカーボンシティ計画
について」

☆点 鐘

現在会員					28名			前々回の欠席者(8/18)						5名	
本 日	出席	19名	欠席	3名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	3名	出席率				86.36%		
	出席	18名	MU	0名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	2名	修正出席率				78.26%		
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	77.26	83.66												
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39		

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

ゲスト紹介

五島市 総務企画部 未来創造課

ゼロカーボンシティー推進班

係長 三井 寛之様

川口 祐樹様

会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。

今日は、夜間の自動車運転に欠かせないヘッドライトについてお話しさせていただきます。

一番初めはアセチレンランプを使用していたのですが、車に発電機が搭載されるようになると登場したのは白熱球です。家庭で使用されている白熱球と同じ構造で、光を反射板で前方に飛ばしていました。この白熱球は、長い間ヘッドライトとして使用されることになります。

続いて登場したのが、シールドビーム式です。シールドビーム式は、白熱電球が大きくなった形状です。光源を効率よく反射することができるため、主流となっていきます。バルブとレンズが一体型となった電球は、フィラメントのみを交換することができず、丸ごと交換する必要がありました。平成の初めまでは軽貨物車等に使われていました。丸形・角型、そしてそれぞれ大小の種類がありました。

シールドビームの次は、ハロゲンランプです。レース車両やラリーカーにしか採用されていなかったハロゲンランプが、1980年代に入ると一般車に広く普及していきます。白熱電球と同様の造りとなっており、糸状の金属で作られたフィラメントに電気を流し、発生する熱で光を放出しています。大きな違いとしては、フィラメントを取り巻く内部には不活性ガスとハロゲンガスが含まれていて、電球に通電すると黄色がかった暖かな光が特徴です。光量としても十分な明るさがあり、また低コストで製造することが可能なため、現在でも純正ヘッドライトとして使用されています。

照射のメカニズムとしては、電球で作られた光を後ろに設置したリフレクターに当てて前方に光を飛ばすというものです。フィラメントの切り替えによって、1つのバルブでロービームとハイビームの切り替えを行っています。もう一つの大きな特徴には、ハロゲンランプは暖房器具にも使用さ

れるほどの高熱を発生させることが挙げられます。この性質は、雪道などでヘッドライトに付着して凍り付く雪を溶かすメリットとして重宝されるものでもあります。

2000年に入るとHIDが登場してきました。HIDは、ディスチャージャーランプやキセノンランプとも呼ばれるもの。フィラメントを光源としたものではなく、「アーク放電」によって光源を得る仕組みです。つまり、家庭で使用されている蛍光灯と同じ原理を用いています。二つの電極に高電圧パルスを加えることで、内部に封入したキセノンガスを発光。そのためHIDは暖色ではなく、青白い光が特徴的です。ハロゲンランプよりも明るく、耐久性もあります。また、消費電力が少ないことが魅力となりました。また遠方まで照射することが可能になり、夜間時には運転がしやすくなるメリットもあります。しかし、デメリットとして挙げられているのは、点灯に時間がかかること。ハロゲンランプのように、すぐに点灯することができません。つまり、ハイビームへの切り替えができないことになります。そのためにロービームはHIDを使用し、ハイビームはハロゲンを組み合わせて使用することが一般的です。そのほかには、バルブの後ろに設置されている反射板の角度を変化させてハイビームに使用するという方法もあります。

続いて登場したのがLEDです。2007年にレクサスに世界初採用となったことを皮切りに、高級車に採用が実現していき、現在では軽自動車にまで広く採用されています。さまざまな製品に広く使用され始めていたLEDですが、光源量として遠くまで届けることが難しかったことから、自動車業界では採用が遅れていました。それを解決したのは『小糸製作所』です。光源として5種類を設定し、遠距離、中距離、近距離、ワイド照射を実現しています。LEDの発行原理は今までの発光原理とは全く異なるものでした。LEDはLight Emitting Diodeのことで「光を発するダイオード」の意味があります。電流を流すと発光する半導体の「高輝度発光ダイオード」を光源とするものです。照射のメカニズムは、とても複雑になっています。1個だけでは光源とする光量はとても低く、複数の光源が必要です。照射特性が違うプロジェクターを用いることで、光源量を増加することに成功しています。良く知られているように、LEDは消費電力を抑えることが大きな特徴です。そのため、ハイブリッドをはじめEVなどの消費電力を抑えたい車には、とても効果が高いものと

なっています。HIDのように点灯するまでに時間を要することはありません。最新のLEDでは十分な明るさも保たれており、使用に不安を感じることはないと思います。

現在も使用されている、ハロゲン、HID、LEDの寿命はそれぞれ約800時間、2000時間、30000時間とされています。LEDは廃車迄交換の必要がないといわれていますが、もし交換が必要となった場合はAssy取替となり、かなり高額になります。ハロゲンですと数年ごとに交換が必要ですが、価格的には数千円で済みます。HIDはハロゲンの2～3倍の交換費用がかかります。ご自分の愛車のヘッドライトが、どのタイプなのか確認されてみたらいかがでしょうか。

以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- 本日の例会終了後、第3回理事会を開催いたしますので、理事、役員の方は御出席をお願いします。
- 本日9月1日入会予定の宮脇秀至（みやわきひでゆき）さんの入会式は、本人の御都合により次々週9月15日に変更になりました。
- 10月28日（土）に開催される地区大会に参加される方は、登録料の納入をお願い致します。

委員会報告

出席報告

- ◆ 9月1日（免除(a)欠席者）
中村 博義君 中村 吉廣君 植松 郁雄君
- ◆ 9月1日（免除(b)欠席者）
谷川 和啓君 佐々野邦久君 吉田 泰之君
- ◆ 9月1日欠席者
坂井 成光君 小畑 和男君 張本 民雄君
山口 裕之君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇平村 和弘君 五島市ゼロカーボンシティ推進班係長三井寛之さん、川口祐樹さん、よろしくお願ひします。
- ◇山下 克己君 今後ともよろしくお願ひします。
- ◇山里 一郎君 山下克己さん、復帰おめでとうござひます。これからよろしくお願ひします。
- ◇松岡 孝博君 //
- ◇清瀧 誠司君 //
- ◇中村 栄治君 //
- ◇戸田 博之君 //
- ◇山下 実君 //
- ◇柳田 靖夫君 //
- ◇才津 喜彦君 //
- ◇片山 雅文君 //
- ◇神之浦文彦君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇橋本 武敏君 //
- ◇三村 剛孝君 //
- ◇寺澤 信義君 //
- ◇有川 真史君 //
- ◇藤川 博士君 //

合計 18,000円

通算合計 163,000円

部外卓話

「五島市ゼロカーボンシティ計画について」

五島市 総務企画部 未来創造課
ゼロカーボンシティ推進班
係長 三井 寛之様

